

<p>奈良市</p> <p>手をつなぐ親の会だより</p>	NO 365	平成30年11月2日(金)	
	発行 会長	奈良市手をつなぐ親の会 小西 英玄	
	所在地	〒631-0801 奈良市左京5-3-1 奈良市総合福祉センター内	
	Tel0742-71-0770	http://naraoyanokai.info/	

私事で恐縮ですが



胃の手術を受けました。胃を2/3取ったため、食事との闘いをしています。一度に沢山食べることが出来ず、一日6回ぐらいに分けて食事をするよう食事指導を受けましたが、現実、不可能な食事指導でした。ゆっくり、よく噛んで、食べなければむかつき呼び起こします。

その結果、体重が10キロ減りました。何回かダイエット試みましたが2~3キロが限度でしたが、今回10キロのダイエットに成功しました。その結果、血糖値も正常範囲に落ち着きました。

これですべて良しと思いきや、聴力が著しく低下しました。

数年前から補聴器を使用していましたが、今補聴器なしでは自分の声すら聞き取ることが出来ません。耳鼻科のドクターから「この聴力では、障害者手帳レベルです」と宣告されました。

ここから本題です。皆さまにお伝えしたいことは、

障害者手帳取得の手続きを進めています。が、なぜか楽しいです。

これでやっと障がいをもつ我が子たちと同じ生活ステージに立つことが出来たからです。

今まで、障がいをもつ我が子たちの代弁者としての当事者の立場を話してきましたが、障がいの種別は異なりますが、やっと今、我が子たちの生きづらさが理解できる体験をしています。我が子たちと同じ環境を共有できるようになったという満足感があります。

聴力に障がいをもって感じたこと。感じるんです。聴こえない貴方が悪いという空気を。

そして理解を示してくださる方は、大きな声でしゃべっていただけますが、早すぎて音が声に変換できないのです。

私たちの子どもも、恐らく感じていたと思います。分からないあなたが悪いという空気を。

そして、叫んでいたと思います。私にわかる方法で伝えてと。

一番悲しいのは、数回聞き直して、最後の答えが「もういい」です。

これは人格否定に感じます。皆さま経験したことが無いと思いますが、朝起きて補聴器を装着して、音が聞こえた時の安堵感。まだ聞こえるという安心感です。

障がいをもつ我が子たち、本当に周りに気を使い、神経をすり減らして生活を送っているんだと思いました。私も、楽しいはずの会話が苦痛になることがあります。誰とかは言いませんが、聞き取りにくい人がいるのです。我が子たちも恐らく同じだと思います。「〇〇さんの言っている事分からへん」と。だから、障がいをもつ我が子たちの老化が早いのかも知れません。

障がい者理解。そんな簡単なものではありません。私たちは老化で気付くかもしれませんが・・・。